

“幼青老の共生”を目指して…

ウチヤマグループの理念と哲学の実践型経営

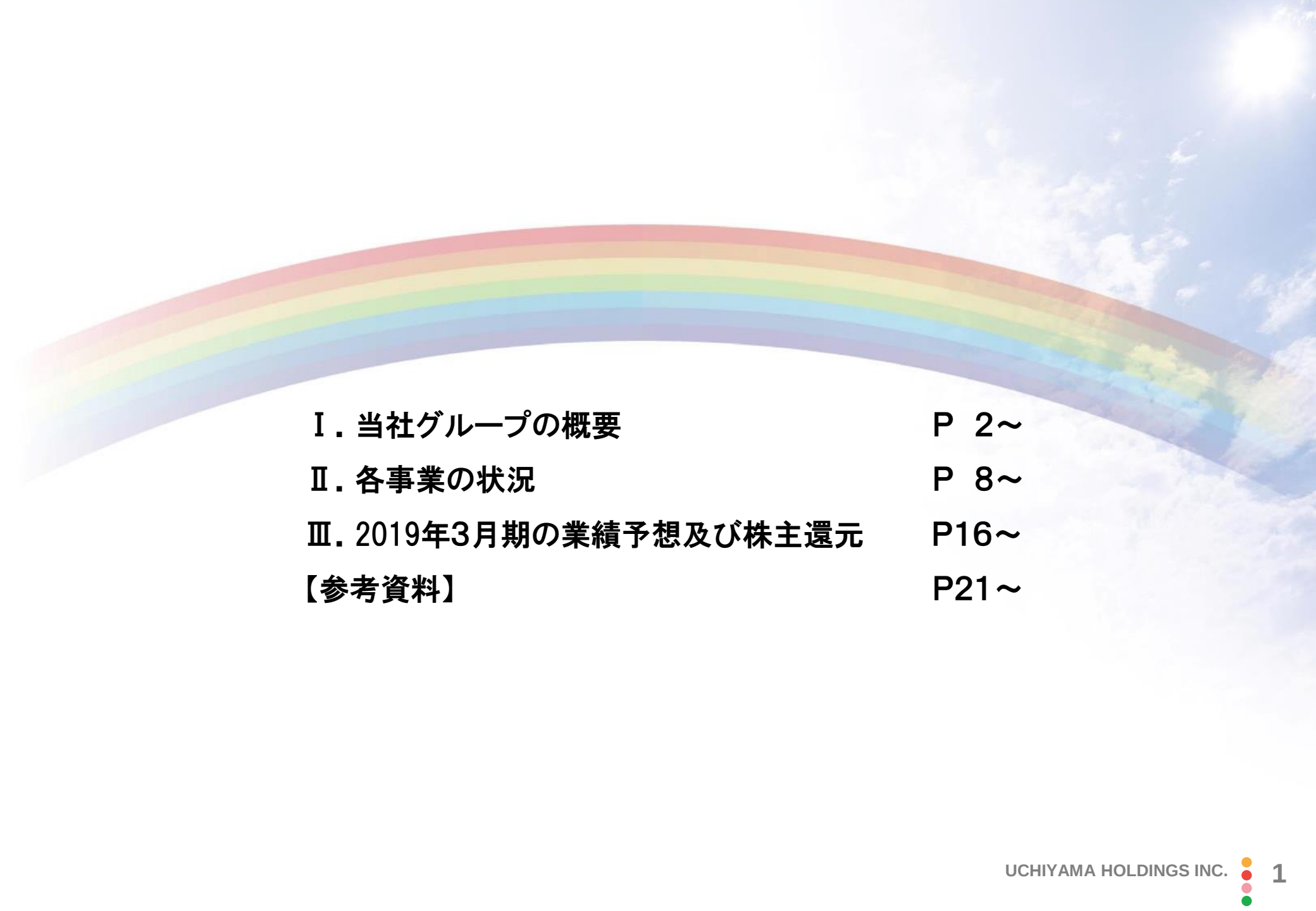
2019年3月



ウチヤマホールディングス
UCHIYAMA HOLDINGS

東証1部 証券コード 6059





I. 当社グループの概要	P 2～
II. 各事業の状況	P 8～
III. 2019年3月期の業績予想及び株主還元	P16～
【参考資料】	P21～



I . 当社グループの概要

1. 当社グループの歩み

北九州市小倉北区にて親子2代
米穀店を運営

Foundation: 不動産事業の開始

1971年 6月 不動産の販売、賃貸管理を目的として福岡県北九州市小倉北区に内山ビル株式会社を設立

カラオケ事業スタート

1991年 4月 福岡県北九州市八幡西区にカラオケボックス1号店『コロッケ倶楽部黒崎店』を開店

飲食事業スタート

1995年 11月 福岡県北九州市小倉北区に飲食事業1号店の居酒屋『酒膳房然』を開店

介護事業スタート

2003年 4月 介護付有料老人ホーム及びデイサービスの併設施設「さわやかパークサイド新川」を福岡県北九州市戸畑区に開所

2004年 12月 介護部門を新設分割し、福岡県北九州市小倉南区に株式会社さわやか倶楽部を設立

2005年 11月 株式会社コウノを存続会社として関連会社6社を吸収合併し、株式会社ボナー（現 株式会社ボナー）に商号変更

Constitution: ウチヤマホールディングス設立

2006年 10月 福岡県北九州市小倉北区に株式移転により、株式会社さわやか倶楽部、株式会社ボナーの持株会社として株式会社ウチヤマホールディングスを設立(資本金285百万円)

2008年 7月 株式会社さわやか倶楽部にて、ホテルと住宅型有料老人ホームの併設施設『さわやかハートピア明礬』を開所

2010年 5月 株式会社さわやか天の川にて、大阪府枚方市に介護付有料老人ホーム『さわやか枚方館』を開所

Further growth: 上場

2012年 4月 大阪証券取引所（現 東京証券取引所）JASDAQ市場（スタンダード）に株式を上場

2013年 12月 東京証券取引所市場第2部へ市場変更

2014年 8月 タイ王国にボナータイランドを設立

2014年 9月 東京証券取引所市場第1部指定

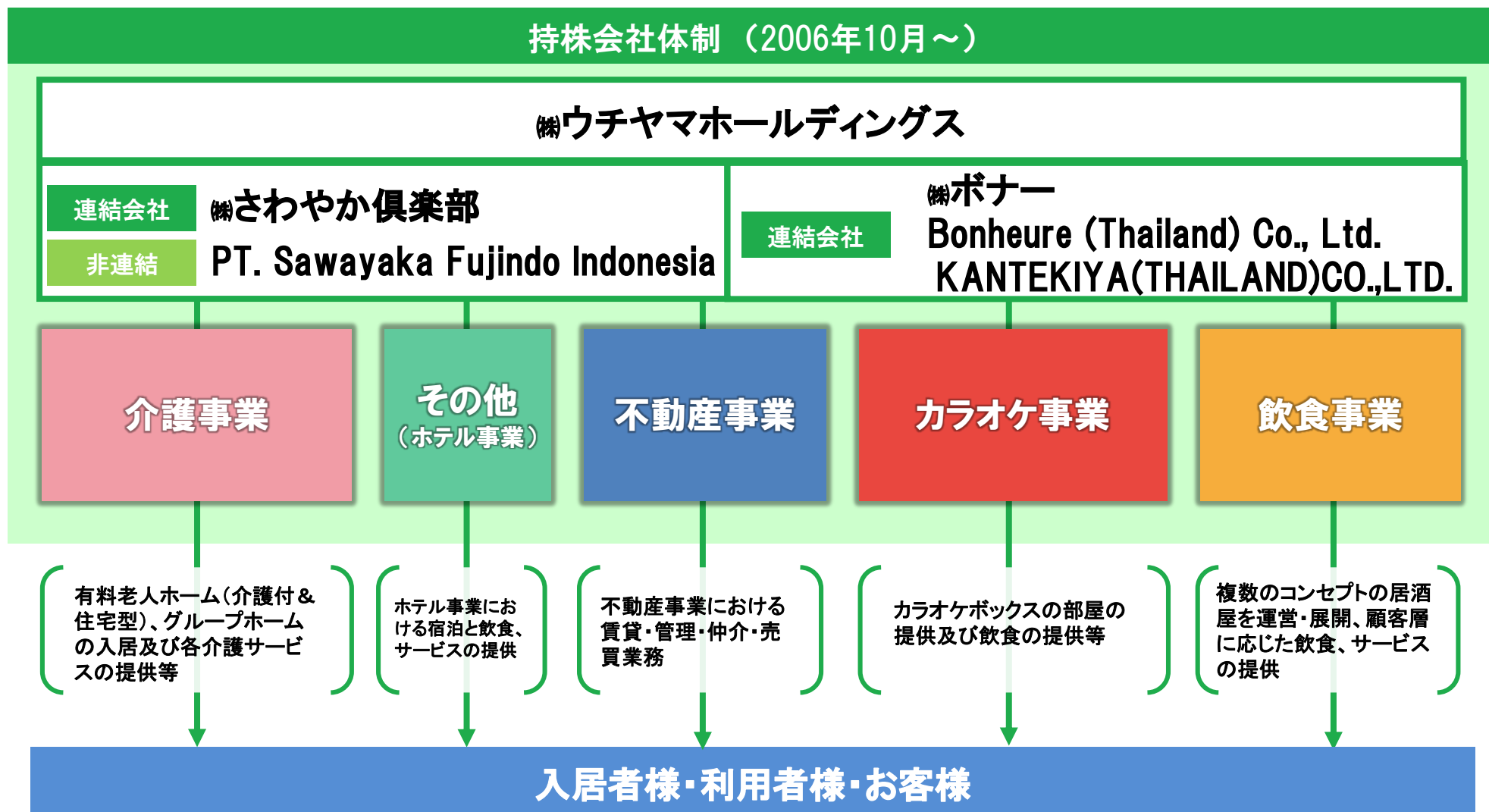
2014年 11月 タイ1号店「かんてきヤスクンビット店」オープン

2015年 11月 障がい児通所支援事業 放課後等デイサービス「さわやか愛の家」を開所

2016年 9月 訪問看護事業「さわやか訪問看護ステーション八幡」を開所

2018年 7月 インドネシアに職業訓練校を設立

2. 当社グループの概要



※1 Bonheure (Thailand) Co., Ltd及びKANTEKIYA(THAILAND)CO.,LTDは、タイにおける合併会社であり連結会社。

※2 PT. Sawayaka Fujindo Indonesiaは㈱さわやか倶楽部出資（60%）のインドネシアにおける合併会社であり非連結。

3. 経営理念と哲学

ウチヤマグループ 基本理念

慈愛の心
尊厳を守る
お客様第一主義

ウチヤマグループ スローガン

幼青老の共生

幼年～青年～老年、共に楽しく過ごせる
社会作りを目指します。

「日本一の接遇とオペレーション」
を目指す
～Give and Give～

●●●▶ 4. 生きがいづくり

高齢者を高齢者として扱うのではなく、「生きがいづくり」をポイントに
「入居者様・お客様が主役」の考え方に立ち
入居者様が積極的に運営やイベントに参加するスタイルを追求



活力朝礼



毎月のお誕生日会



ハンドベル演奏会



笑顔コンテスト



見学者のご案内



栽培・収穫



盆栽教室



スナック もいちど

常に「社会貢献」を重視した経営を推進

● 地震被災者の施設での受入れ

(福岡西方沖地震、東日本大震災、熊本地震、大阪北部地震(受入れ表明))

● 集中豪雨被災者の施設での受入れ

(九州北部豪雨、秋田豪雨、平成30年7月豪雨)

● 世界の子どもたちの支援

(チャイルドスポンサーシップ、ラオスでの小学校建設)

● NPO法人テラ・ルネッサンスとのタイアップ

(アフリカの元子供兵の社会復帰活動支援)

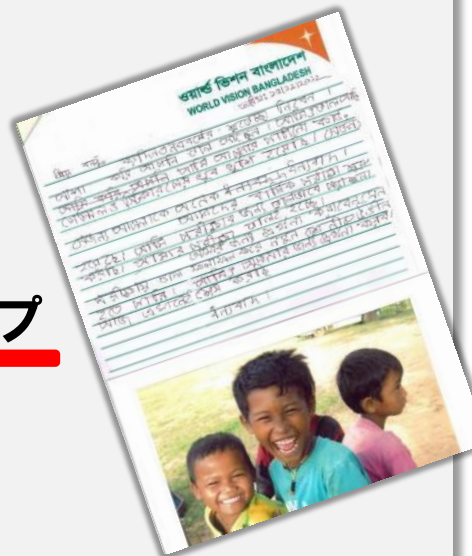
● ホームレスへの炊き出し

● 「ウチャマ子ども食堂」をオープン

● 著名人による特別講演会の主催

(1999年より過去26回実施)

⇒養老孟司氏(2018年)、櫻井よしこ氏(2017年・2014年)、渡部昇一氏(2016年)
金美齢氏(2015年)、茂木健一郎氏(2013年)、安倍晋三氏(2012年)
五木寛之氏(2011年)、鎌田實氏、日野原重明氏など



子供たちからの手紙



福岡西方沖地震被災者の施設受入



ラオスでの小学校建設



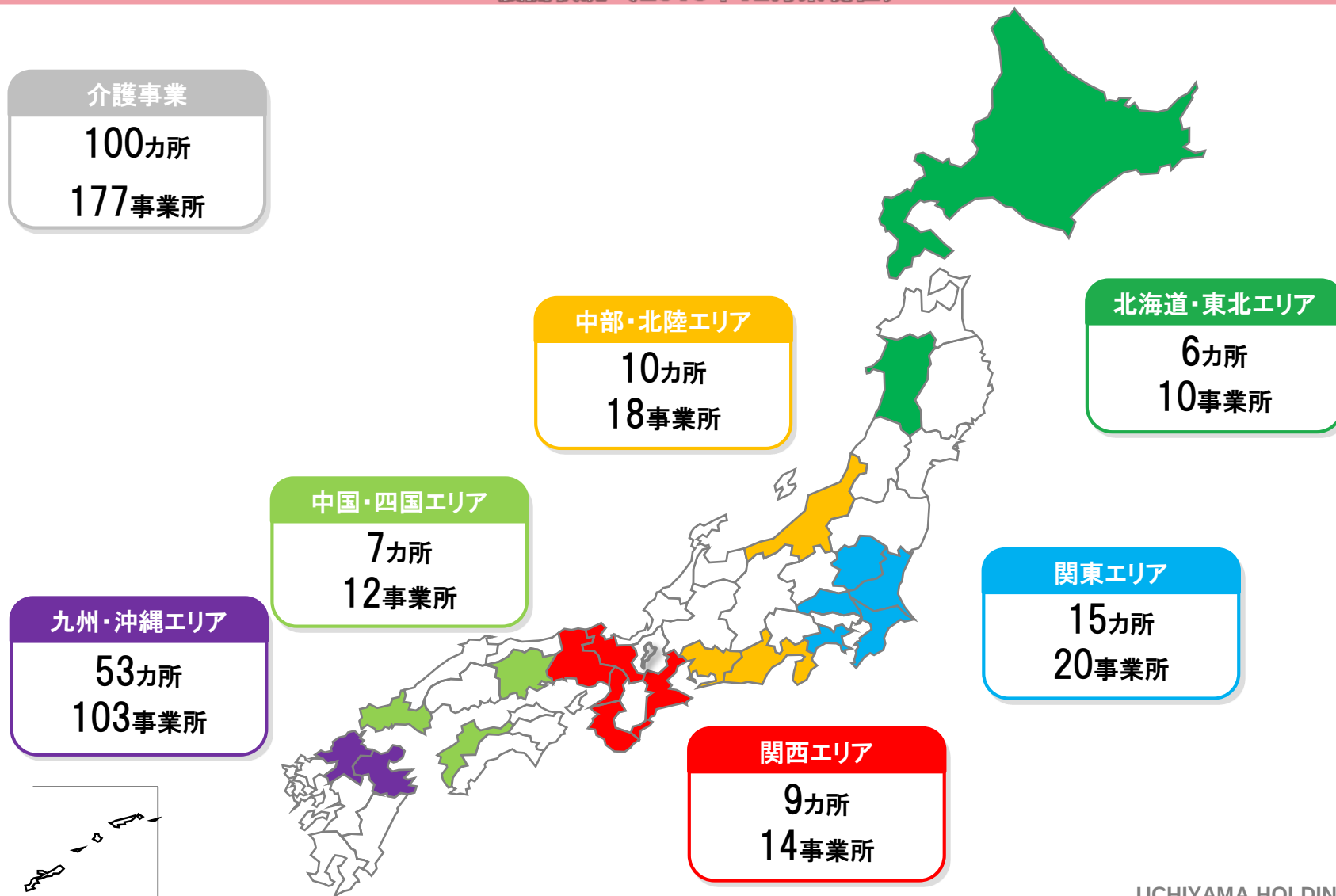
特別講演会の主催
UCHIYAMA HOLDINGS INC.



Ⅱ．各事業の状況

1. 介護事業 ①展開状況

展開状況（2018年12月末現在）



1. 介護事業 ②戦略と強み

戦略 ①	戦略 ②	戦略 ③	戦略 ④
特定施設 の積極展開	グループホーム の展開	放課後等 デイサービスの展開	M & Aの 推進

下期以降の開設計画 (トータル 435床)

2018年 11月開設	さわやかあびこ館 (千葉県我孫子市)	介護付き有料老人ホーム	50床
2019年 2月開設	さわやかグループホーム なすしおばら (栃木県那須塩原市)	グループホーム	18床
2019年 3月開設	さわやかそう花の里 (埼玉県草加市)	介護付き有料老人ホーム	61床
2019年 11月開設予定	さわやか流山館 (千葉県流山市)	介護付き有料老人ホーム	71床
2020年 1月開設予定	さわやか桜一つ森館 (秋田県秋田市)	介護付き有料老人ホーム	50床
2020年 3月開設予定	さわやか神戸西館 (兵庫県神戸市)	介護付き有料老人ホーム	80床
2020年 3月開設予定	さわやかしらおか館 (埼玉県白岡市)	介護付き有料老人ホーム	55床
未定	さわやか室蘭貳番館 (北海道室蘭市)	介護付き有料老人ホーム	50床

業界トップクラスの高オペレーション(運営)効率

高いオペレーション効率

【看護・介護職員1人当たり利用者数】

- 当社 2.5～2.7人
- 特定施設事業者平均 2.0人

(出所) 厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査(平成27年)」

堅調な入居率

- 既存施設(2018年4～12月平均) 96.1%
- 既存施設(2017年4-12月平均) 93.8%

1. 介護事業 ③さわやか愛の家

■介護事業における新規事業の推進

障がい児通所支援事業 放課後等デイサービス 「さわやか愛の家」

- 障がいのある子どもたち（6～18歳）に対し、放課後や長期休暇中において療育の場を提供
⇒ 日常生活動作の指導、集団生活への適応訓練等
- レスパイトケア：ご家族に代わり一時的にケアを代替することで、日々の疲れ等をリフレッシュしていただく家族支援サービス

2018年12月現在
19事業所
(生活介護・相談室含む)

【当期】 **3事業所を開設**
(愛知県1事業所、山口県1事業所、秋田県1事業所)



「さわやか愛の家 おかざき館」
(2018年5月1日開設)



「さわやか愛の家 しものせき館」
(2018年5月1日開設)



「さわやか愛の家 さくら館」
(2018年6月1日開設)



1. 介護事業 ④産学官連携

【事例-1】 口腔ケアのQOL向上 等に向けて

ウチヤマホールディングス

(公大) 九州歯科大学

(公財) 北九州産業学術推進機構

【目標】

- 産学官連携推進により、医療・介護分野における新たな研究成果の開発を行う
- 先端的かつ幅広い視野を有する人材の育成、新規技術の創出を目指す

【主な連携内容】

- 口腔ケア分野において、より質の高いサービス提供とQOL(生活の質)向上に繋がる取り組みを更に推進
- 社内資格として口腔ケア認定士を新設

【事例-2】 革新的イノベーション に向けて

ウチヤマホールディングス

(国大) 九州大学

(公財) 北九州産業学術推進機構
(一社) 生き方のデザイン研究所

【目標】

- 高齢者に関わる様々な気づきを対話によって収集・分析し、高齢化社会の重要課題を発見する
- アイデアの可視化・共有化を行い、事業化に結びつける
- 「生きがいづくり」をテーマに入居者の今後の目標などを考え、実現することで「新たな人生をデザイン」していく

【主な連携内容】

- 弊社施設において、各機関が参画・連携し革新的なイノベーション拠点の創出を行う

【事例-3】 ITやロボット技術活用 に向けて

ウチヤマホールディングス

(国大) 九州工業大学

(公財) 北九州産業学術推進機構

【目標】

- 医療・介護分野において、情報通信やロボット技術を活用することで、施設におけるサービスの質的向上や業務軽減につなげる

【主な連携内容】

- 当社施設においての情報処理技術やセンシング技術を活用した実証実験の展開により、安全な介護を探索して行く

1. 介護事業 ⑤新規事業

2017年11月
「外国人技能実習制度」改正

対象職種に介護職種等も加わり、
より幅広い職種の技能実習生の受入が可能に

【当社グループの取り組み】

インドネシアにて現地の情報を豊富に有するPT.FUJINDO SERVIS INDONESIAと合併会社を設立し、日本企業へ優秀な人材を送り出す職業訓練校を2018年7月設立

【基本方針】

介護職種だけではなく、多岐にわたる技能実習生を対象とした人材の育成と来日後のフォローを展開

【外国人技能実習生受入状況】

【現状】

No.	職種	人数	区分	研修期間	受入先	実績
①	ホテル	36名	技能実習	6ヵ月	他社	入国済
②	介護	21名	技能実習	12ヵ月	自社	2019年10月入国予定
③	クリーニング	8名	技能実習	6ヵ月	他社	2019年7月入国予定
④	農業	27名	インターンシップ	3ヵ月	他社	2019年4月入国予定

【検討中】

No.	職種	人数	区分	研修期間	受入先	実績
①	介護	9名	インターンシップ	3ヵ月	自社	2019年4月入学予定
②	酪農	30名	インターンシップ	3ヵ月	他社	2019年5月入学予定



2. カラオケ事業 展開状況

基本的な特長

- 1店舗当たりのボックス数は30室程度
- カラオケは常に最新機種を装備
- 明るい雰囲気、安心感、安全性
- 豊富な食事メニュー
- シニア層向けの割引サービスを実施

高齢者向けのサービスを更に拡充

● さわやかゴールドメンバーカード

(65才以上のシニア層を対象にプレミアム特典付きのカードを発行)

2018年3月末現在

ゴールドカード



新規発行

税込 **無料**

再発行 **¥200**

100円につき1ポイント付与
1ポイント1円として割引
最大3000ポイント使用可能!

ゴールド会員
6万人

一般会員+アプリ会員
164万人

一般会員カード



新規発行

税込 **¥200**

再発行 **¥200**

100円につき1ポイント付与
1ポイント1円として割引
最大3000ポイント使用可能!

アプリ会員



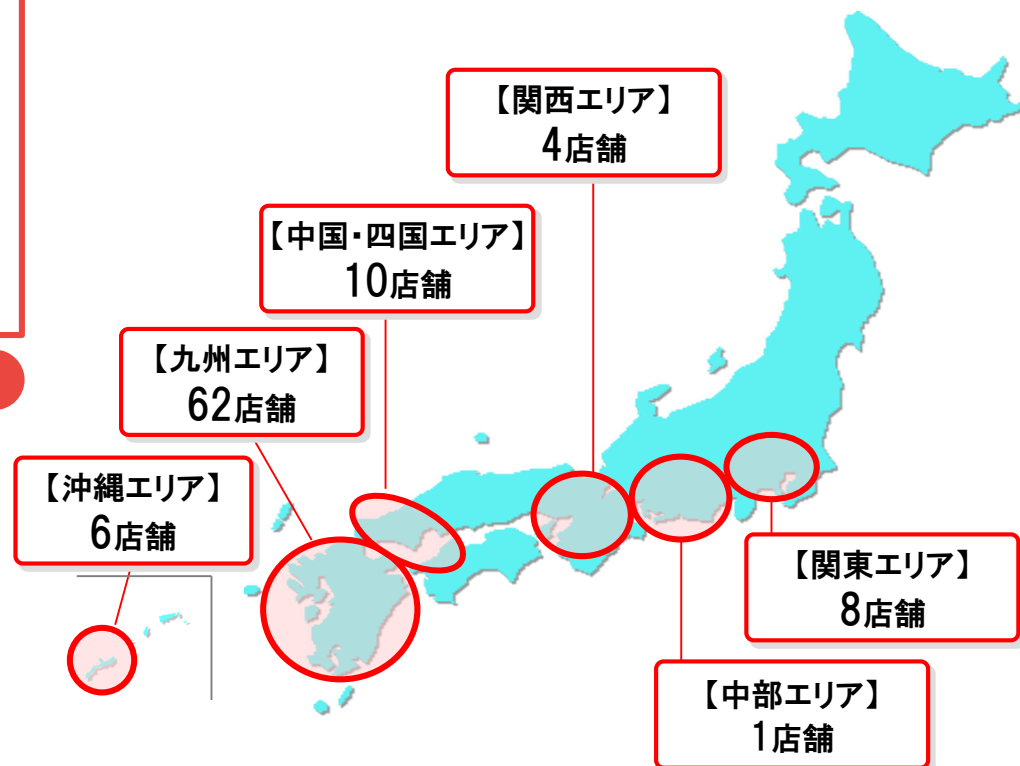
新規発行

税込 **無料**

再発行 **無料**

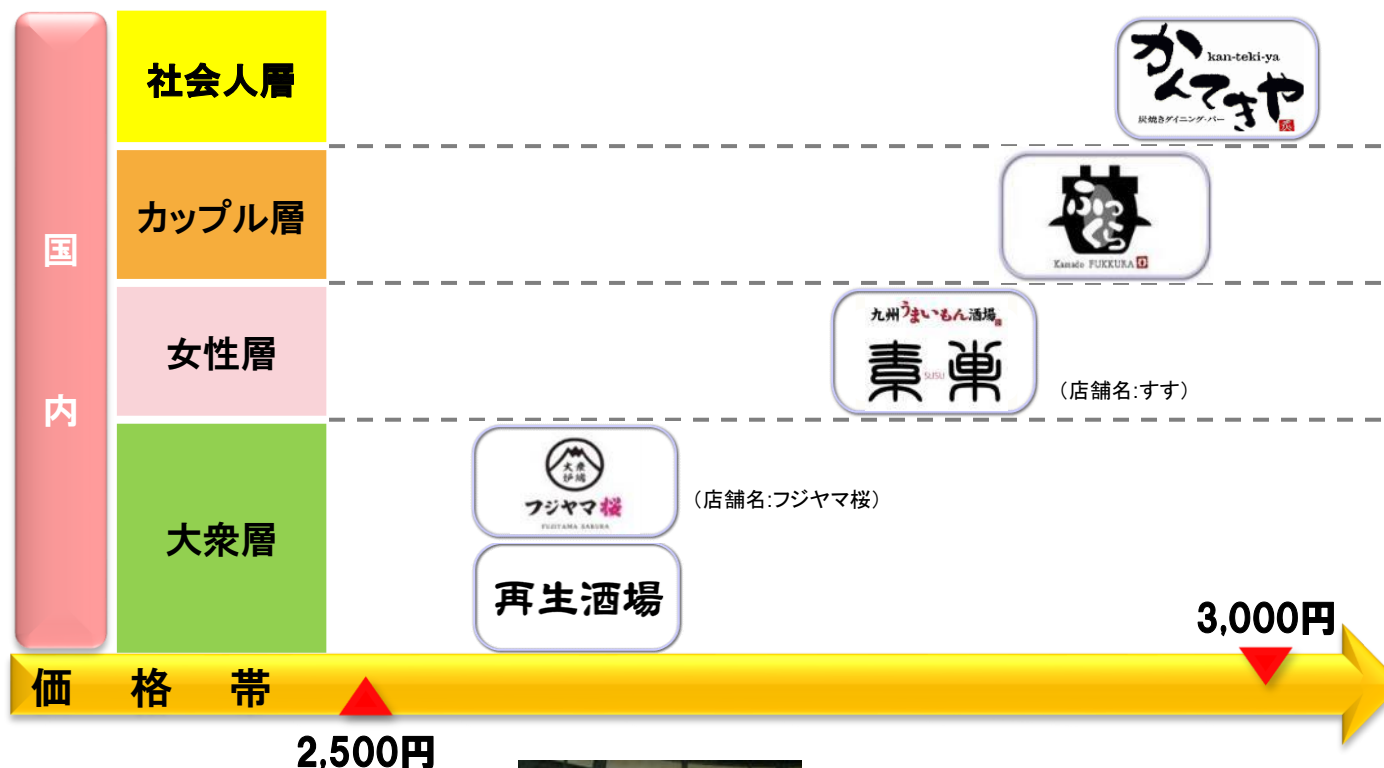
100円につき1ポイント付与
1ポイント1円として割引
最大3000ポイント使用可能!

カラオケ事業の展開状況 合計91店舗 (2018年12月末現在)



3. 飲食事業 ブランド戦略

主要ブランド



その他のブランド



(店舗名:ハイボールバー銀天街1923)



(店舗名:鳥くらぶ)



海外

タイ 2店舗
かんてきや
スクビット店
ブロンボン店



客単価 (1パーツ=3.0円)
昼: 約 320パーツ (約960円)
夜: 約 840パーツ (約2,520円)

地産・地消・地役



Ⅲ. 2019年3月期の業績予想及び株主還元

1. 2019年3月期 連結業績予想

(単位:百万円)

	前期(2018/3)		通期予想(2019/3)		前期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	率(%)
売上高	26,402	100	27,781	100	1,379	5.2
営業利益	1,191	4.2	1,318	4.7	127	10.6
経常利益	1,352	4.0	1,371	4.9	19	1.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	808	2.6	881	2.9	73	9.1
1株当たり純利益(円)	41.83	-	45.62	-	3.79	-
1株当たり配当金(円)	10	-	10	-	0	-

2. 株主還元

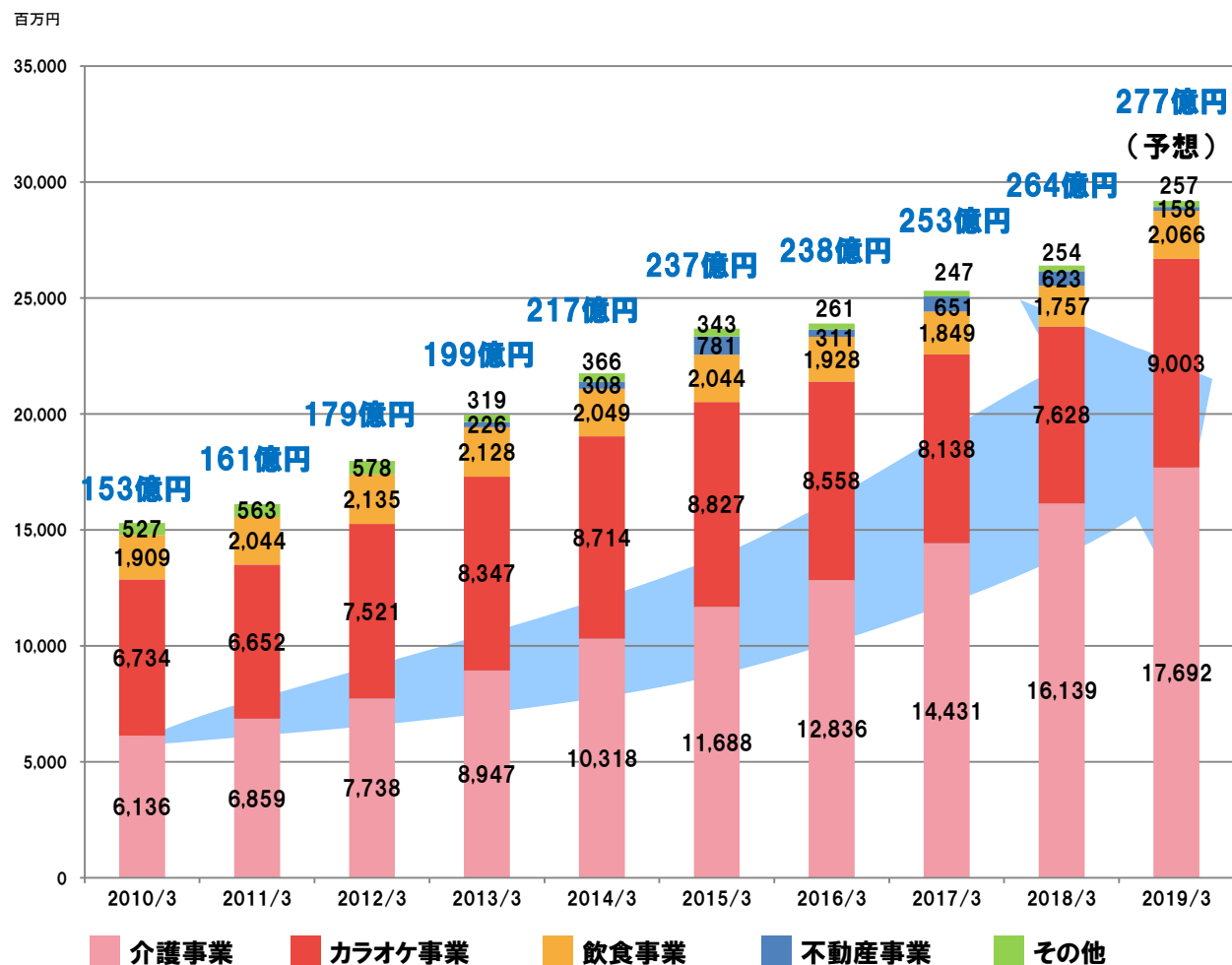
配当金について

	第2四半期末	期末	合計	連結配当性向
2013年3月期（実績）	5円	5円	10円	13.2%
2014年3月期（実績）	5円	5円	10円	8.8%
2015年3月期（実績）	6円	5円	11円	18.4%
2016年3月期（実績）	5円	5円	10円	21.7%
2017年3月期（実績）	5円	5円	10円	322.9%
2018年3月期（実績）	5円	5円	10円	23.9%
2019年3月期（計画）	5円	5円	10円	21.9%

株主優待について

ご対象株主様	ご所有株式数	ご優待内容
毎年3月31日の株主様	400株以上	お米券 5kg分（1kg券×5枚）

3. 長期ビジョン



長期ビジョン

【連結売上高】

1,000億円

【連結営業利益】

100億円

を目指す

**続きまして産学官連携の概要を
ご説明致します。**





【参考資料】

1. プロフィール

社名	株式会社ウチヤマホールディングス
本社	福岡県北九州市小倉北区熊本2-10-10
設立	2006年10月（前身は1971年6月）
代表者	代表取締役社長 内山 文治
連結従業員数	正社員2,028名、パート・アルバイト等2,384名 合計4,412名（2018年3月末）
事業内容	● 介護事業 ● カラオケ事業 ● 飲食事業 ● 不動産事業 ● その他（ホテル）

2. 業績情報 ①要約損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	前期 (2017/3)	構成比 (%)	当期 (2018/3)	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	25,318	100.0	26,402	100.0	104.3
売上原価	22,838	90.2	23,517	89.1	103.0
売上総利益	2,479	9.8	2,885	10.9	116.3
販売費及び一般管理費	1,702	6.7	1,693	6.4	99.5
営業利益	777	3.1	1,191	4.5	153.3
営業外収益	348	1.4	267	1.0	76.8
営業外費用	117	0.5	107	0.4	91.2
経常利益	1,008	4.0	1,352	5.1	134.1
特別利益	48	0.2	441	1.7	916.9
特別損失	917	3.5	552	2.1	60.3
税金等調整前当期純利益	139	0.6	1,240	4.7	889.5
法人税等	80	0.3	432	1.6	537.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	59	0.2	808	3.1	1,348.0

2. 業績情報 ②要約貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

資産の部				負債／純資産の部			
	2017/3 4Q末	2018/3 4Q末	増減額 (百万円)		2017/3 4Q末	2018/3 4Q末	増減額 (百万円)
流動資産	13,171	13,393	221	流動負債	6,256	6,470	213
現金及び預金	9,249	9,315	65	短期借入金	844	751	△ 93
たな卸資産	1,117	1,057	△60	1年以内返済予定の 長期借入金	2,225	2,300	75
固定資産	17,184	16,699	△ 484	固定負債	9,304	8,225	△ 1,078
有形固定資産	12,361	11,528	△ 832	長期借入金	7,516	6,549	△ 967
建物及び構築物(純額)	7,721	7,281	△ 439	負債合計	15,560	14,696	△ 864
土地	3,629	3,390	△ 238	(有利子負債)	11,727	10,505	△1,222
無形固定資産	45	77	31	純資産合計	14,794	15,397	602
投資その他の資産	4,776	5,093	316	(自己資本比率)	48.7 %	51.2 %	2.5pt
				(ネットD/Eレシオ)	0.17 倍	0.08 倍	△0.09
資産合計	30,355	30,093	△ 262	負債純資産合計	30,355	30,093	△ 262

※1 有利子負債＝短期借入金+1年内返済予定の長期借入金+設備未払金+1年内償還予定の社債+リース債務+長期借入金+長期設備未払金+社債

※2 自己資本比率＝(株主資本+その他の包括利益累計額)／負債純資産合計

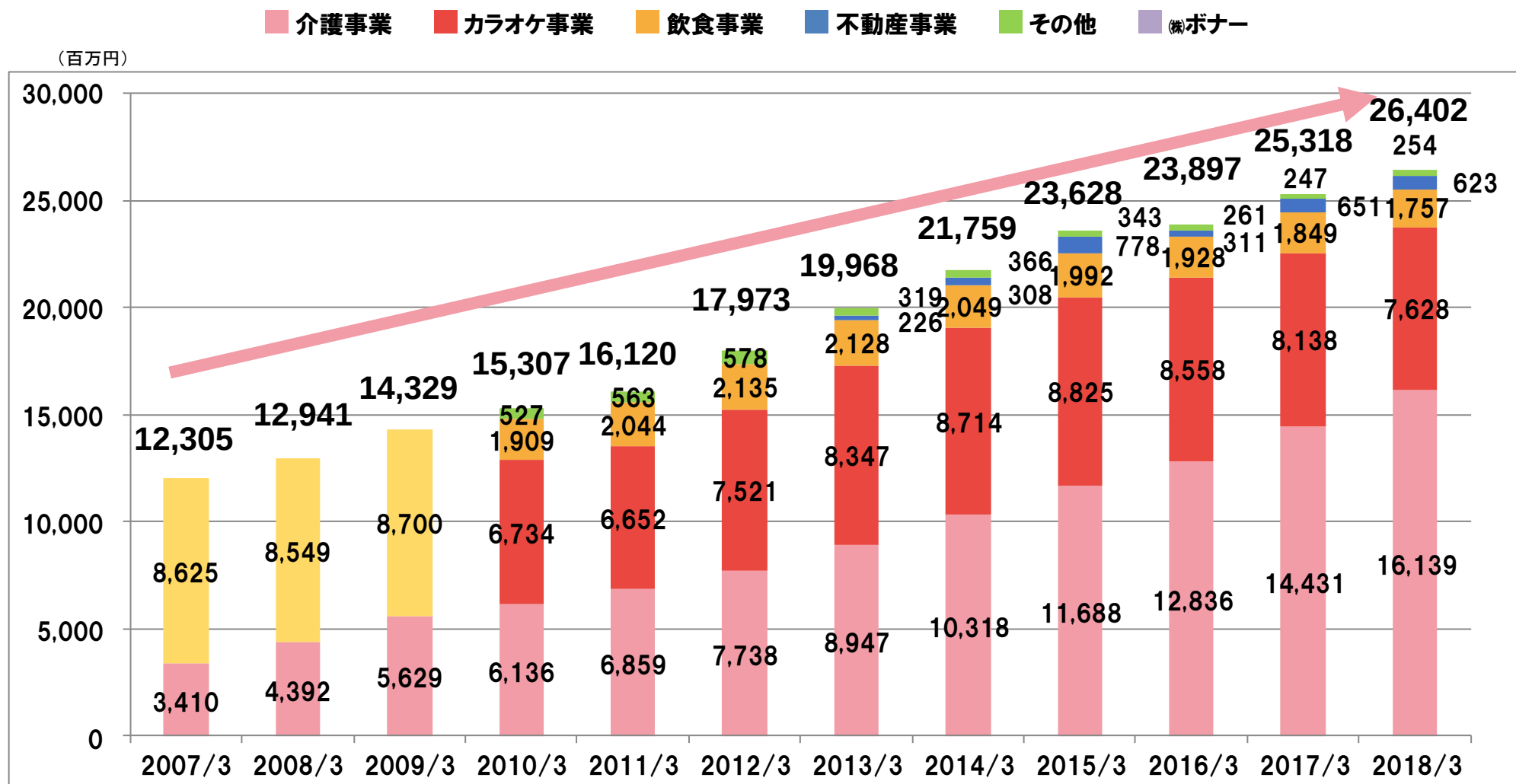
※3 ネットD/Eレシオ＝(有利子負債－現金及び預金)／純資産合計

2. 業績情報 ③要約キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位：百万円）

	2017/3 4Q累計	2018/3 4Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,795	2,070
税金等調整前当期純利益	139	1,240
減価償却費	1,198	1,025
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,878	△ 321
有形固定資産の取得による支出	△ 2,146	△ 2,446
有形固定資産の売却による収入	13	2,464
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 246	△ 1,686
配当金の支払額	△ 196	△ 193
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 331	65
現金及び現金同等物の期首残高	9,301	8,969
現金及び現金同等物の期末残高	8,969	9,034

3. 事業別の売上高推移（連結）

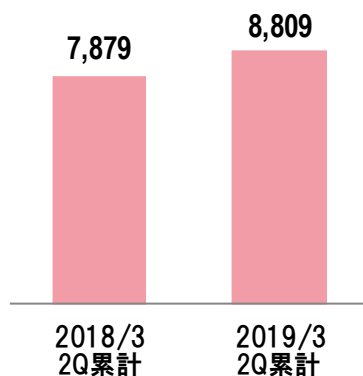


4. 事業別の状況 ①介護事業 (1) サマリー

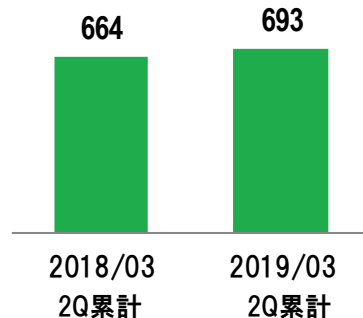
(単位: 百万円)

	2019/3 2Q累計		予想比	2018/3 2Q累計	前年 同期比
	予想	実績		実績	
売上高	8,805	8,809	+0.0%	7,879	+11.8%
セグメント利益	558	693	+24.3%	664	+4.5%
セグメント利益率	6.3%	7.9%	+1.6pt	8.4%	△0.5pt

売上高(百万円)



セグメント利益(百万円)



- 介護付有料老人ホーム3ヶ所、障がい児通所支援事業放課後等デイサービス「さわやか愛の家」3ヶ所を新規開設し、営業拠点は99ヶ所176事業所に拡大し、11.8%の増収。

- 近隣の病院や居宅介護支援事業所への訪問による連携の強化を推進することで入居率の安定化を目指した結果、既存施設の平均入居率は96.4%(前年同期比+3.0%)に向上。

※入居率＝入居人数÷ベッド数、開設1年以上経過した施設のみで計算



さわやかおかざき館
(愛知県岡崎市)

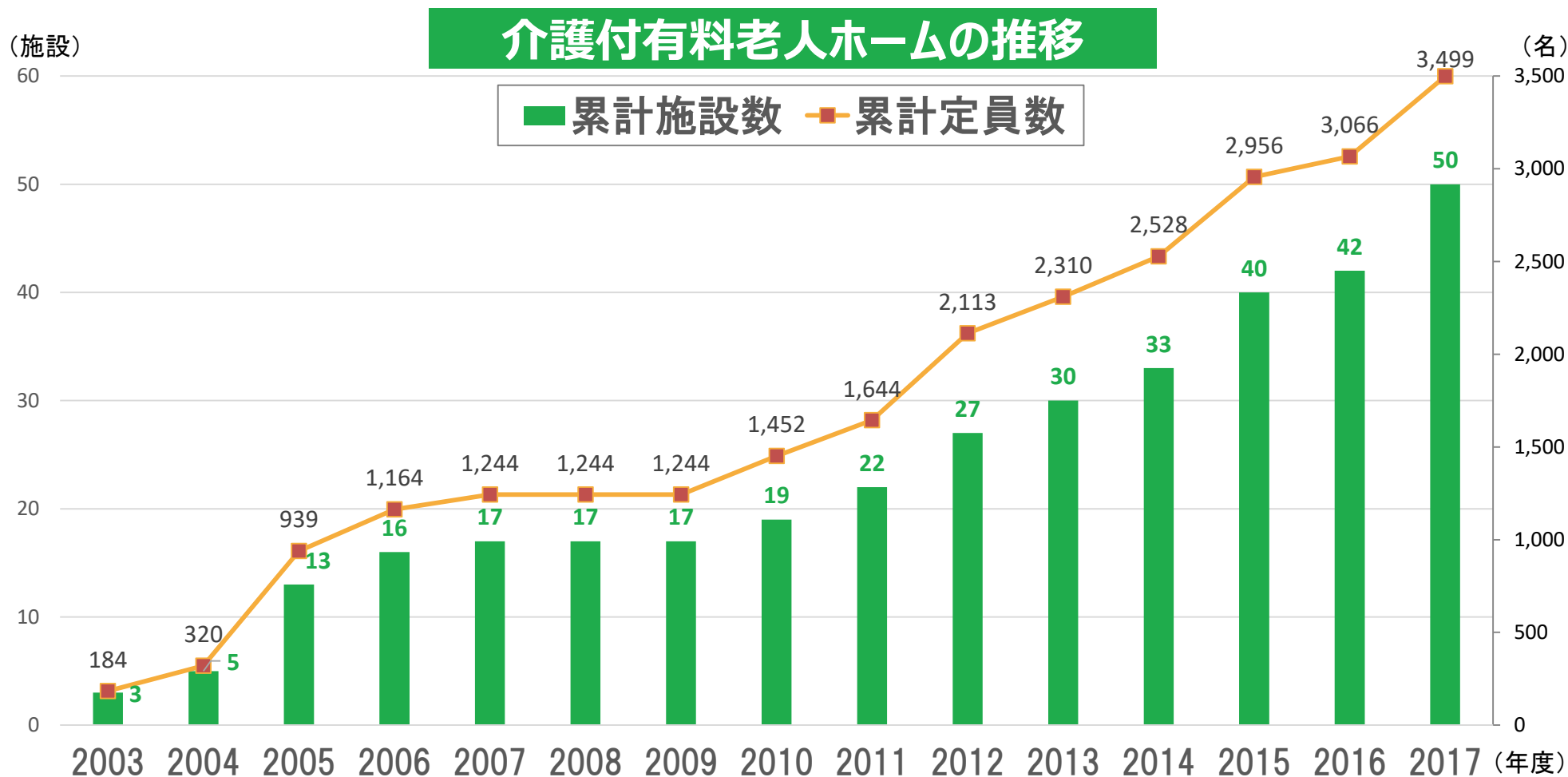


さわやかひめじ館
(兵庫県兵庫県)

2018年 5月開設	さわやかおかざき館 さわやか愛の家おかざき館 (愛知県岡崎市)	介護付き有料老人ホーム ショートステイ 放課後等デイサービス	41床 9床 10名
2018年 5月開設	さわやか愛の家しものせき館 (山口県下関市)	放課後等デイサービス	10名
2018年 6月開設	さわやかひめじ館 (兵庫県姫路市)	介護付き有料老人ホーム	50床
2018年 6月開設	さわやか桜参番館 さわやか愛の家さくら館 (秋田県秋田市)	介護付き有料老人ホーム 放課後等デイサービス	29床 10名

4. 事業別の状況 ①介護事業 (2) 着実な拡大

2015年度以降、年平均5.6施設を開設し急速な事業拡大を図る



4. 事業別の状況 ①介護事業 (3) 主な企業の業績

介護事業 主な企業の業績 (2018年3月期)

(百万円)

	会社名	対象セグメント	売上高	営業利益
1	ニチイ学館	介護・ヘルスケア部門	151,176	14,585
2	SOMPOホールディングス	介護・ヘルスケア事業	125,047	△1,485
3	ベネッセホールディングス	介護・保育カンパニー	111,812	8,850
4	ツクイ		81,772	4,861
5	ユニマット リタイヤメント・コミュニティ	介護事業	45,129	4,119
6	セントケア・ホールディングス		39,456	1,919
7	ALSOK	介護事業	25,644	105
8	シップヘルスケアホールディングス	ライフケア事業	22,724	955
9	ソラスト	介護・保育事業	20,095	1,046
10	ウチヤマホールディングス	介護事業	16,139	1,176
11	シダー		13,861	535
12	ヒューマンホールディングス	介護事業	9,531	△20

(出所) 各社決算短信より作成

4. 事業別の状況 ①介護事業 (4) 有料老人ホーム

■運営棟数・室数(2018年9月末現在)

	会社名	棟数	室数
1	(株)ベネッセスタイルケア	312	16,952
2	SOMPOケア(株)	278	17,362
3	(株)ベストライフ	165	10,408
4	(株)ニチイ学館	142	8,629
5	H I T O W Aケアサービス(株)	107	6,605
6	(株)川島コーポレーション	106	—
7	(株)木下の介護	88	5,243
8	(株)さわやか倶楽部	69	4,599
9	グリーンライフ(株)	57	3,894
10	(株)チャーム・ケア・コーポレーション	47	3,297
11	(株)スーパー・コート	44	3,055
12	(株)ユニマット リタイアメント・コミュニティ	44	1,881

■過去1年開設棟数(2017年10月以降)

	会社名	棟数	室数
1	(株)さわやか倶楽部	10	557
2	(株)木下の介護	9	453
3	(株)チャーム・ケア・コーポレーション	8	506
4	(株)ベネッセスタイルケア	8	480
5	H I T O W Aケアサービス(株)	7	447
6	(株)はれコーポレーション	5	284
7	(株)長谷工シニアホールディングス	4	292
8	(株)ベストライフ	5	177
9	エフビー介護サービス(株)	3	57
10	ライクケアネクスト(株)	2	168
11	(株)クラッチ	2	134
12	トラストガーデン(株)	2	128
13	(株)ヴァティー	2	90

(出所) 月刊シニアビジネスマーケット 2018年11月より作成

●●●▶ 4. 事業別の状況 ①介護事業 (5) 開設事例

事業所内に保育園を併設した事業所を開設

従来から、入居者様の“生きがづくり”の一環として、近隣の幼稚園・保育園など地域社会との交流を重視

交流機会の拡大に向け、事業所内に保育園を併設

さわやかシーサイドくきのうみ（福岡）…2017年6月開設



- ◆介護付有料老人ホーム(80床)
- ◆ショートステイ(10床)
- ◆保育園(定員19名)

福岡県北九州市若松区
TEL:093-752-5400



さわやかひがしおおさか館（大阪）…2018年2月開設



- ◆介護付有料老人ホーム(94床)
- ◆ショートステイ(31床)
- ◆保育園(定員19名)

大阪府東大阪市
TEL:06-6729-5546



➡ 2018年4月より認可保育園として運営スタート

4. 事業別の状況 ①介護事業 (6) M & A

【介護業界の特徴と事業環境】

- 介護業界には業界内外の多くの事業者が参入し、競争が激化するとともに、サービス面や体制面で事業者間格差が生まれてきている
- 通常3年ごとに介護保険法の改正および介護報酬の改定が行われており、これに伴う対応が不可欠
- 介護サービスのほとんどにおいて、有資格者によるサービスが義務付けられており、介護市場の拡大に伴って有資格者に対する求人が増加し優秀な人材の確保が難しい状況が出てきている
- 介護施設立上げのための初期費用が、他の事業に比べて大きい

こうした状況から、経営不振に陥る介護施設が全国的に増加する傾向へ

【当社グループの基本方針】

施設が持つ潜在力を的確に見極め、当社グループの運営・管理ノウハウによって改善が見込まれる施設をM&Aにより取得



さわやかグループホームはなみずき

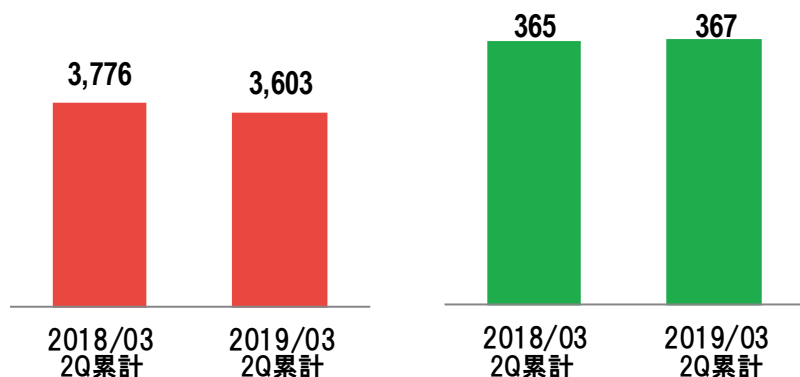
4. 事業別の状況 ②カラオケ事業 (1) サマリー

(単位: 百万円)

	2019/3 2Q累計		予想比	2018/3 2Q累計	前年 同期比
	予想	実績		実績	
売上高	3,699	3,603	△2.6%	3,776	△4.6%
セグメント利益	353	367	+4.0%	365	+0.5%
セグメント利益率	9.6%	10.2%	+0.6pt	9.7%	+0.5pt

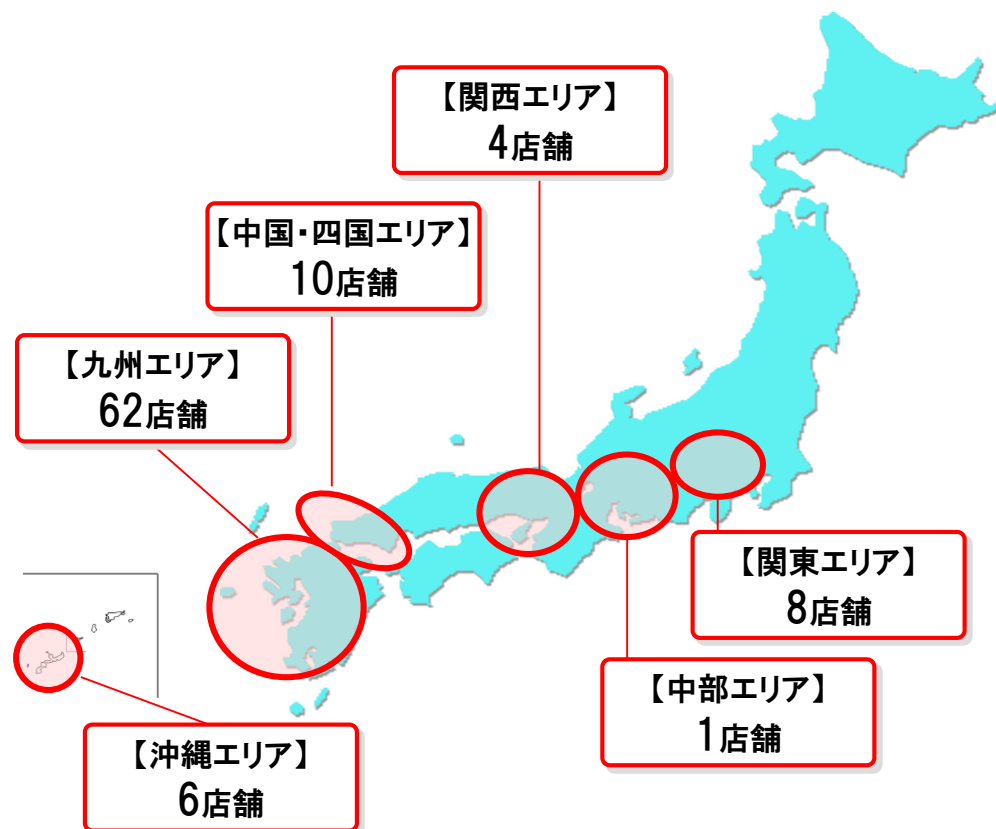
売上高(百万円)

セグメント利益(百万円)



- 新規の開店は行わず退店を2店舗行ったことから、店舗数は90店舗となりました。
- SNSを活用しクーポン等を積極的に送信するなど集客の向上に努めましたが、ワールドカップロシア大会への関心が高く客足が鈍ったことに加え、相次ぐ自然災害の影響を受け集客が減少した結果、売上高が4.6%減収。
- その一方で、適正な人員の配置や業務オペレーションの効率化を推し進めコストの削減に努めたことにより、セグメント利益は0.5%の増益。

カラオケ事業の展開状況 合計91店舗 (2018年12月末現在)



4. 事業別の状況 ②カラオケ事業 (2) 戦略

戦略

ドミナント化による地域一番戦略

→ 4大都市圏での出店

カラオケ事業
店舗数の推移

2017年3月末(実績)

96店舗

△4

2018年3月末(実績)

92店舗

△2

2019年3月末(見込み)

90店舗

今後の戦略ポイント

- ① 特長を生かした既存店の集客UP
- ② 不採算店のスクラップ
- ③ 既存店のリニューアル

基本的な特長

- 1店舗当たりのボックス数は30室程度
- カラオケは常に最新機種を装備
- 明るい雰囲気、安心感、安全性
- 豊富な食事メニュー
- シニア層向けの割引サービスを実施
- さわやかゴールドメンバーカード
- さわやかモーニングパック



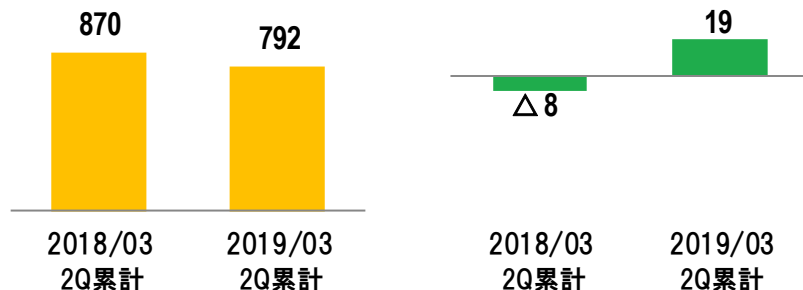
4. 事業別の状況 ③飲食事業 (1) サマリー

(単位: 百万円)

	2019/3 2Q累計		予想比	2018/3 2Q累計		前年 同期比
	予想	実績		実績		
売上高	814	792	△2.8%	870		△9.0%
セグメント利益	32	19	△41.2%	△8		—
セグメント利益率	4.0%	2.4%	△1.6pt	—		—

売上高(百万円)

セグメント利益(百万円)



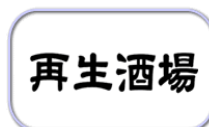
- 既存店の業態変更を1店舗を行ったほか国内1店舗、タイ1店舗の退店を行ったことにより、国内19店舗、海外2店舗となりました。
- カラオケと同様に、FIFAワールドカップ開催や自然災害による影響からの集客鈍化などの結果、売上高は9.0%減収となりましたが、セグメント利益は19百万円の黒字となりました(前年同期8百万円の損失)。

【業態変更】
2018年5月1日

フジヤマ桜 西橋店
(宮崎県宮崎市)

50席

飲食事業の展開状況 合計21店舗 (2018年12月末現在)
(国内19店舗、海外2店舗)



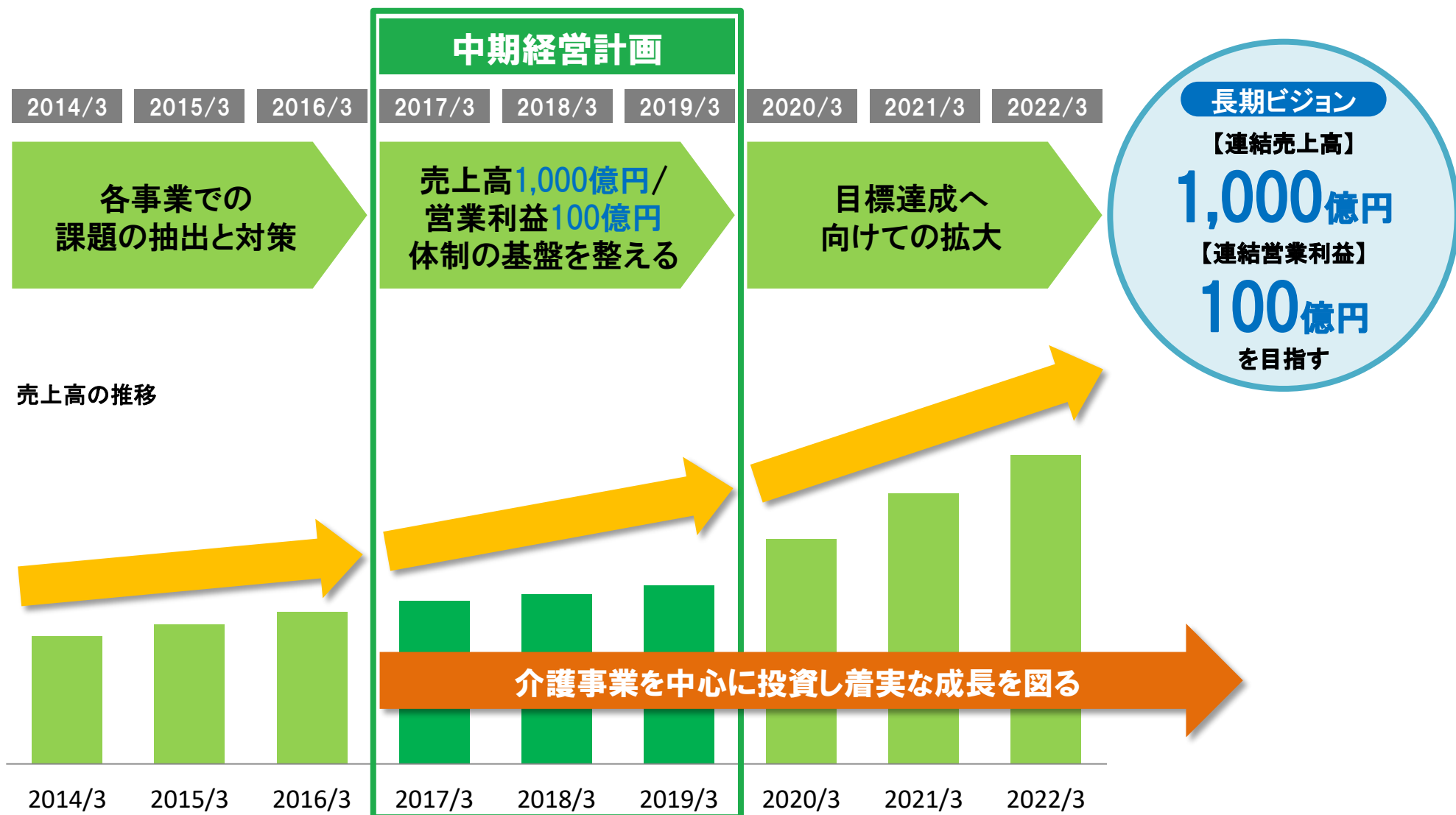
(店舗名: ハイボールバー 銀天街1923)



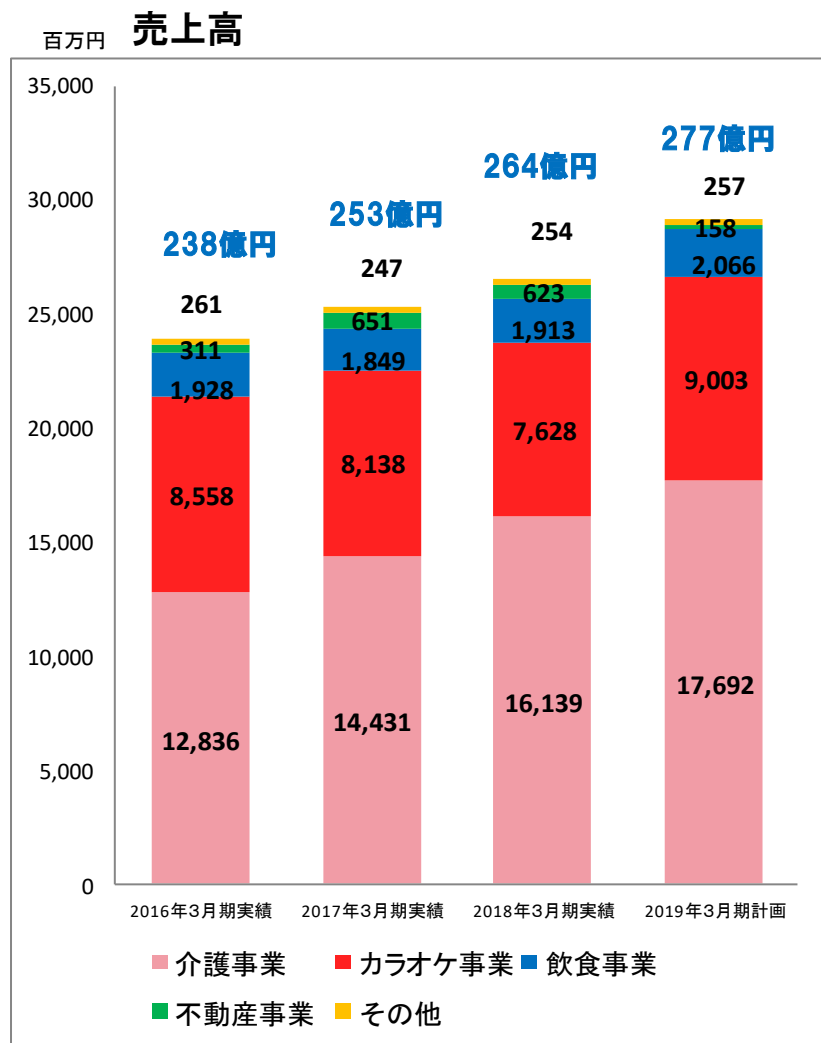
(店舗名: フジヤマ桜)



5. 中期経営計画 ①位置づけ



5. 中期経営計画 ②定量目標

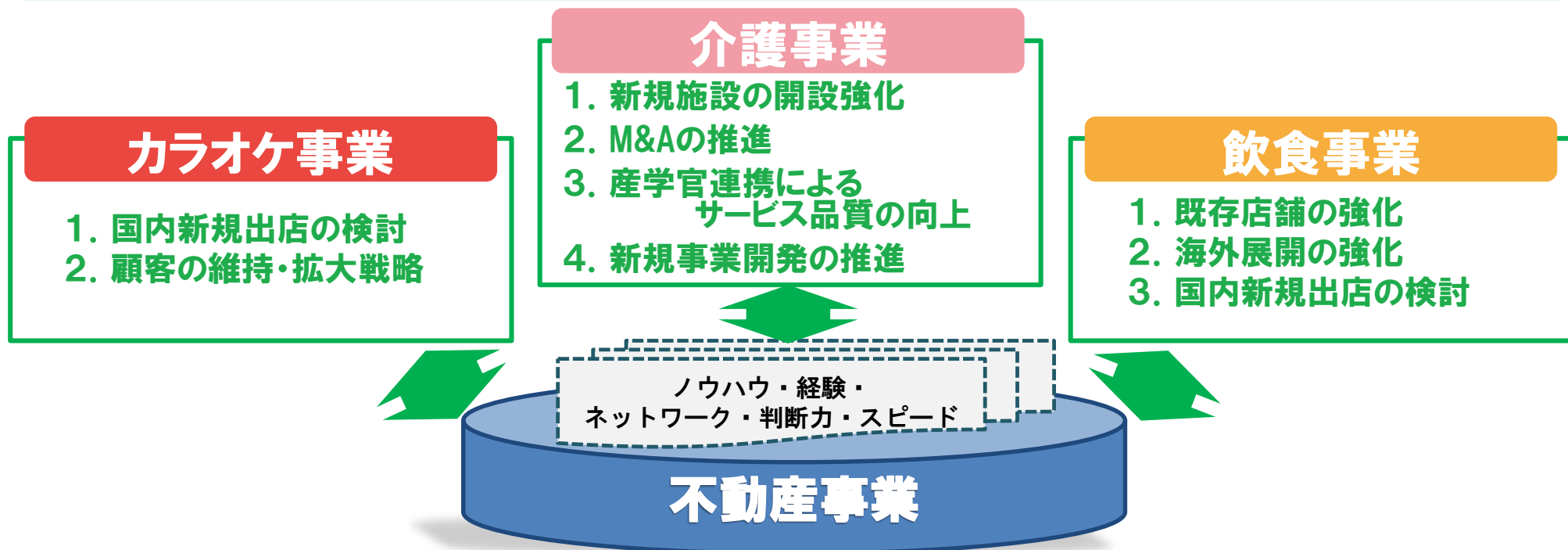


連 結	2017/3期 実績	2018/3期 実績	2019/3期 計画
売上高 (百万円)	25,318	26,402	27,781
営業利益 (百万円)	777	1,191	1,318
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	59	808	881
親会社株主に帰属する 当期純利益率(%)	0.2	3.1	3.2
総資産回転率	0.83回	0.87回	1回以上
財務レバレッジ	2.0倍	1.9倍	2倍程度
R O E (%)	0.4	5.4	5.0以上
配当の方針	安定配当 10円/年	安定配当 10円/年	安定配当 10円/年

※総資産回転率＝売上高/総資産、財務レバレッジ＝総資産/自己資本

5. 中期経営計画 ③基本戦略

主要事業のバランスを重視した成長戦略の推進

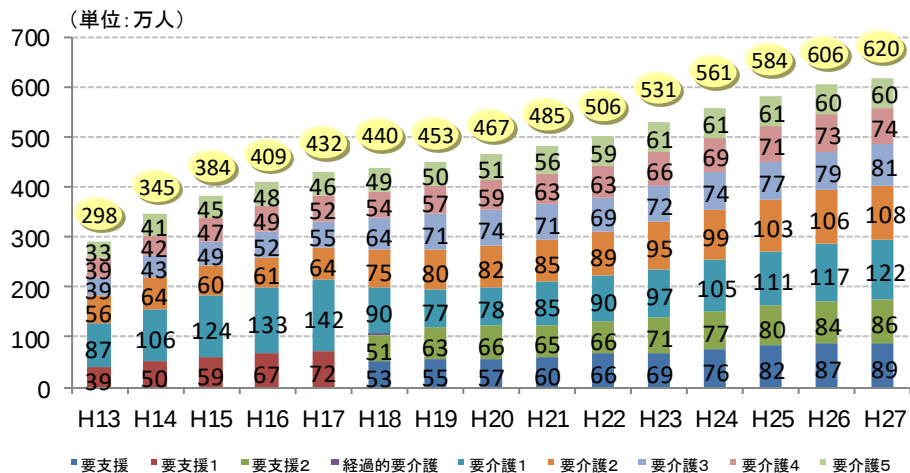


【3事業と不動産のシナジー】

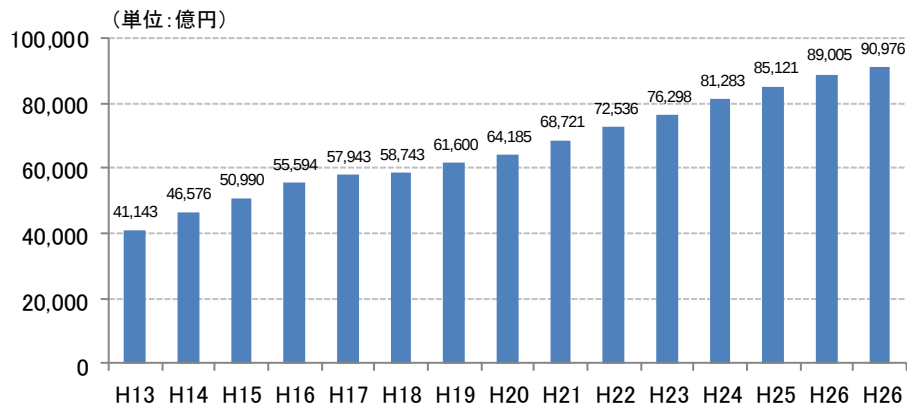
- (1) 好立地の物件情報を迅速に入手できる
- (2) 物件の良し悪しを即座に判断できる
- (3) 施設や店舗を低コストにて出店できる

7. 業界動向 ①介護市場の動向(1)

要介護(要支援)認定者数

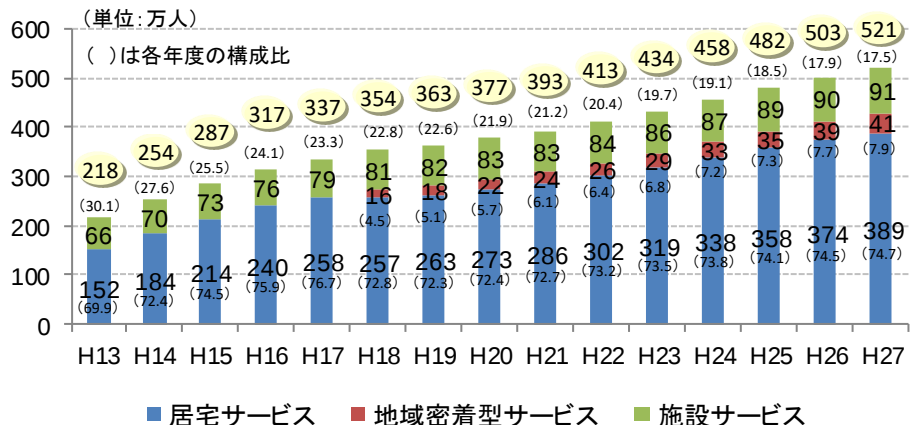


(参考1)年度別介護サービス給付費の推移

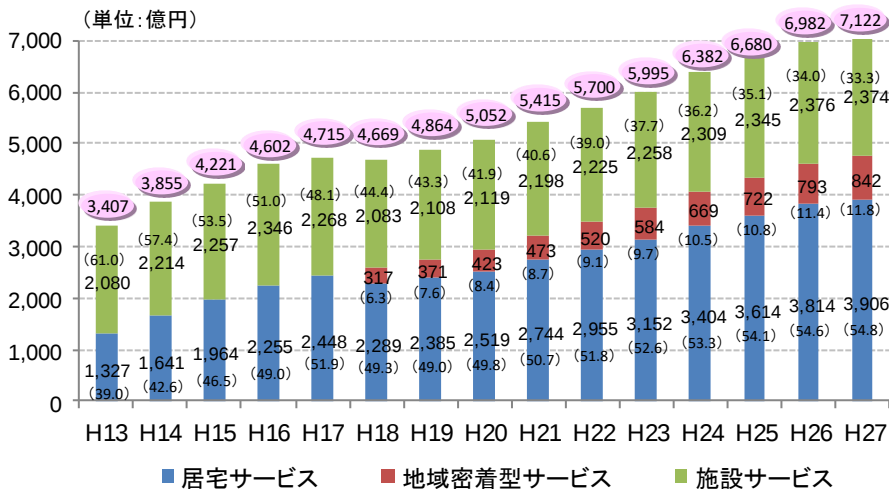


(注1) 特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費、高額医療合算介護サービス費を含む。

介護サービス受給者数(1ヶ月平均)



(参考2)年度別(居宅、地域密着、施設別)介護サービス給付費の推移



(注1) グラフの数値は各年度における月平均値。()は各年度の構成比。

(注2) 特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費、高額医療合算介護サービス費を含まない。

(注1) 各年度とも3月から2月サービス分の平均。ただし平成12年度は、4月から2月サービス分の平均。

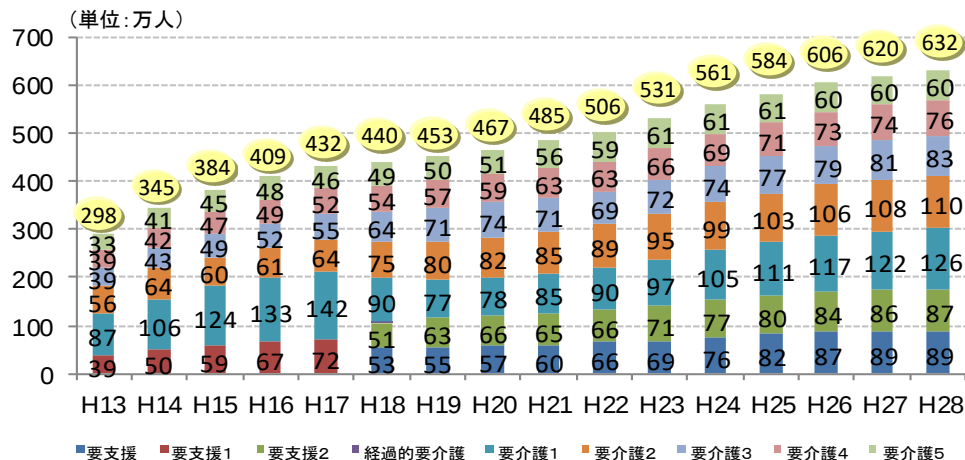
(注2) 平成18年度の地域密着型サービスについては、4月から2月サービス分の平均。

(注3) 受給者数は、居宅サービス、地域密着型サービス、施設サービス間の重複利用がある。

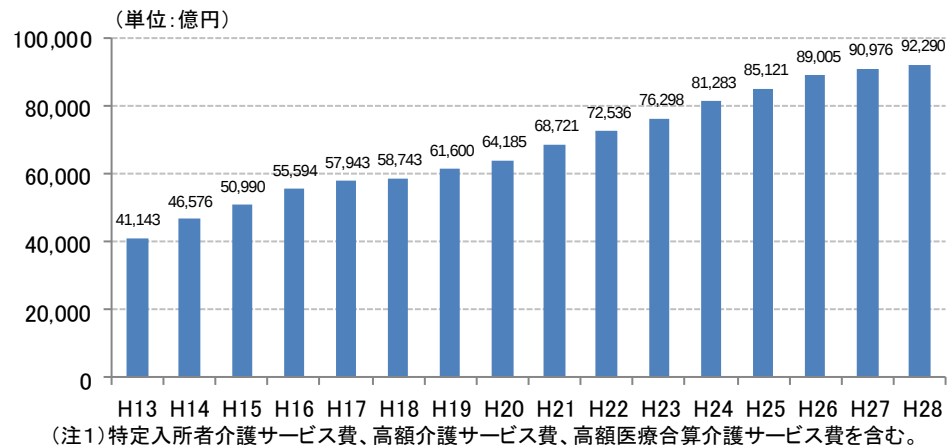
(出所) 厚生労働省「介護保険事業状況報告(平成27年度版)」※東日本大震災の影響により、H22はすべて福島県内5町1村の数値が含まれていない

7. 業界動向 ①介護市場の動向(1)

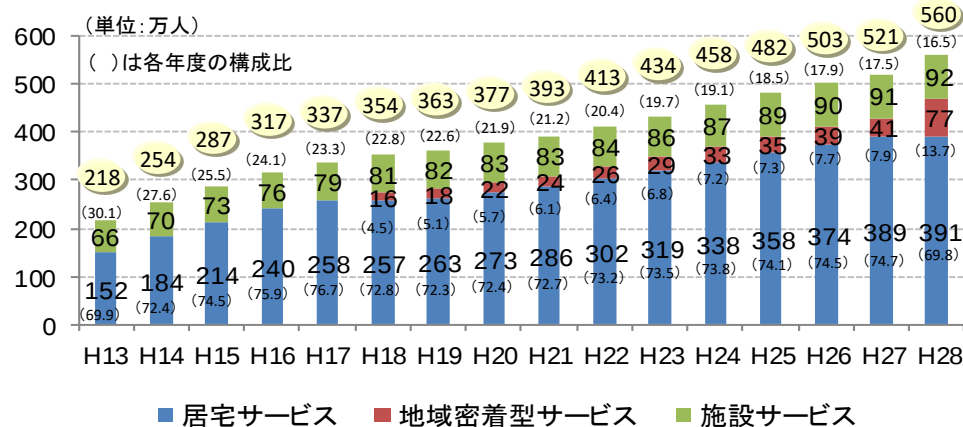
要介護(要支援)認定者数



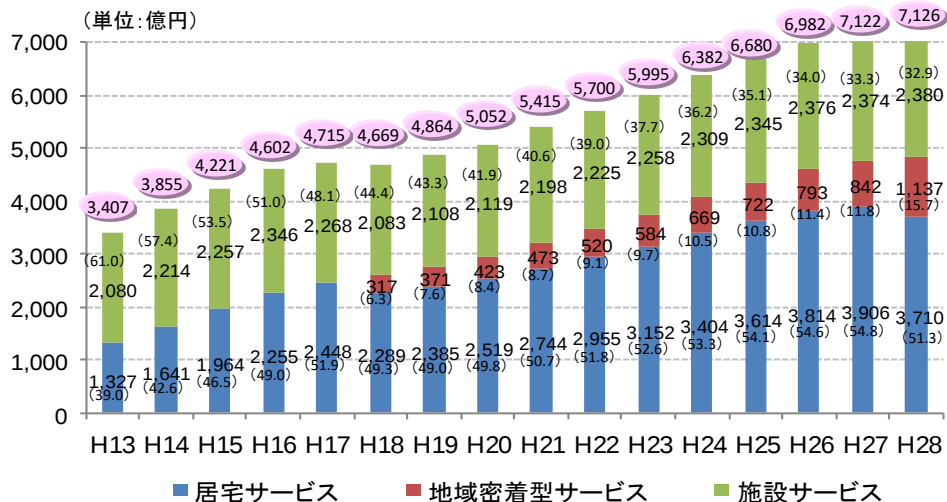
(参考1)年度別介護サービス給付費の推移



介護サービス受給者数(1ヶ月平均)



(参考2)年度別(居宅、地域密着、施設別)介護サービス給付費の推移



(注1) 各年度とも3月から2月サービス分の平均。ただし平成12年度は、4月から2月サービス分の平均。

(注2) 平成18年度の地域密着型サービスについては、4月から2月サービス分の平均。

(注3) 受給者数は、居宅サービス、地域密着型サービス、施設サービス間の重複利用がある。

(出所) 厚生労働省「介護保険事業状況報告(平成28年度版)」※東日本大震災の影響により、H22はすべて福島県内5町1村の数値が含まれていない

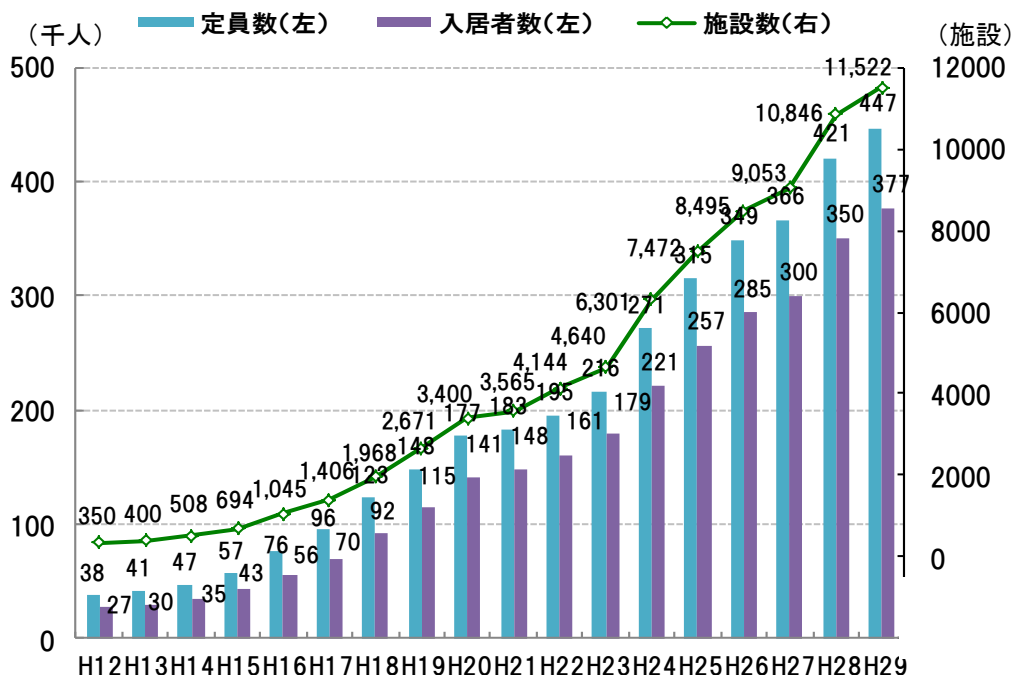
(注1) グラフの数値は各年度における月平均値。()は各年度の構成比。

(注2) 特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費、高額医療合算介護サービス費を含まない。

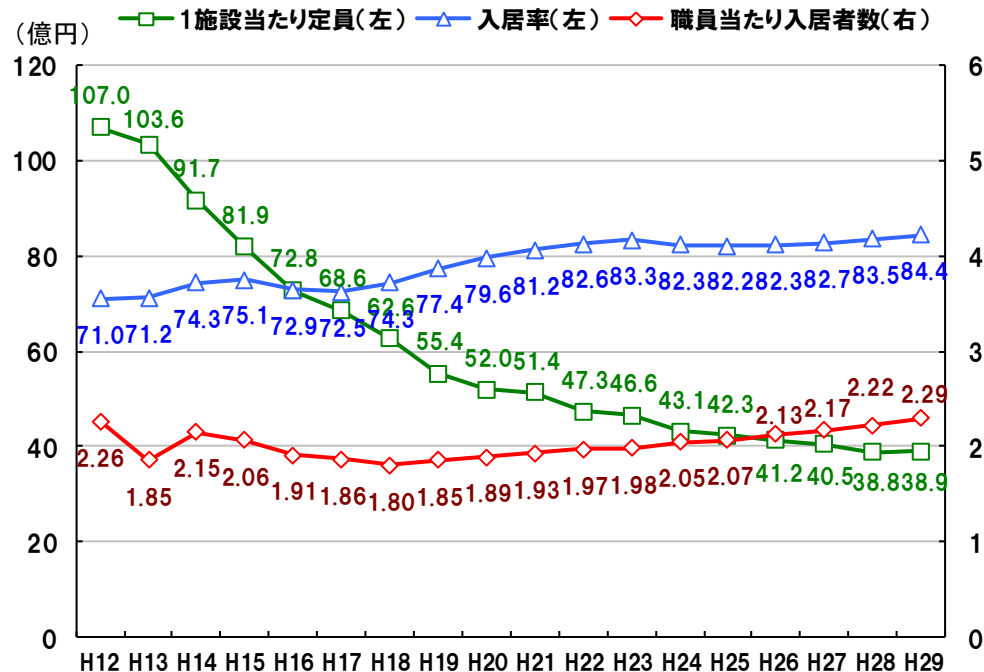
7. 業界動向 ①介護市場の動向(2)

介護保険法施行(2000年)後、
急拡大を続けてきた有料老人
ホーム市場は、引き続き堅調に拡大

施設規模は縮小傾向にある一方、
人員効率は緩やかに改善



※各年10月1日現在 ※職員数は常勤換算
(出所) 厚生労働省「平成29年度社会福祉施設等調査」



※職員当たり入居者数＝入居者数／常勤換算職員数
(出所) 厚生労働省「平成29年度社会福祉施設等調査」

7. 業界動向 ①介護市場の動向(3)

- 参酌標準が撤廃され、各地域の自治体での介護施設策定計画の自由度が増加
- 各地域の自治体の実情に応じた基盤整備が進んでいくと想定

平成18年4月 介護保険法の改正

- ⇒各自治体が**特定施設の新規開設を制限**することが可能に
- ⇒新規開設を制限する際の根拠として、**参酌標準**が使用される

平成22年 行政刷新会議

- ⇒**参酌標準の平成24年度からの撤廃を決定**

各地域の自治体が地域の実情に応じて特別養護老人ホーム等の介護施設を整備可能

- ⇒**各地域の実情に応じた基盤整備が進んでいくと想定**
- ⇒市町村との繋がりを密にし、公募等情報の適時把握が肝要

(特定施設とは)

都道府県から「特定施設入居者生活介護」の指定を受けて、以下に入居された利用者に介護サービスを提供する事業所を指す。

1. 有料老人ホーム
2. 養護老人ホーム
3. 軽費老人ホーム(ケアハウス)
4. サービス付き高齢者向け住宅

(参酌標準とは)

各市町村が介護保険事業計画を策定する際に、各種サービス見込み量を定めるに当たり参酌すべきものとして、厚生労働大臣が示す目安。

具体的には、「介護保険三施設、グループホーム、介護専用型特定施設の利用者数を、要介護2～5の高齢者数の37%以下とする」というもの。

第5期介護保険事業計画期間(平成24～26年度)から撤廃される。

7. 業界動向 ①介護市場の動向(4)

※青字は当社の事業領域

	対象	都道府県が指定・監督	市町村が指定・監督
介護給付サービス	要介護1～5	◆居宅サービス 【訪問サービス】 ○訪問介護(ホームヘルプサービス) ○訪問入浴介護 ○訪問看護 ○訪問リハビリテーション ○居宅療養管理指導 ○特定施設入居者生活介護 ○特定福祉用具販売 ◆居宅介護支援 ◆施設サービス ○介護老人福祉施設(特養) ○介護老人保健施設 ○介護療養型医療施設	◆地域密着型サービス ○夜間対応型訪問介護 ○認知症対応型通所介護 ○小規模多機能型居宅介護 ○認知症対応型共同生活介護(グループホーム) ○地域密着型特定施設入居者生活介護 ○地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
予防給付サービス	要支援1・2	◆介護予防サービス 【訪問サービス】 ○介護予防訪問入浴介護 ○介護予防訪問看護 ○介護予防訪問リハビリテーション ○介護予防居宅療養管理指導 ○介護予防特定施設入居者生活介護 ○介護予防特定福祉用具販売 【通所サービス】 ○介護予防通所リハビリテーション 【短期入所サービス】 ○介護予防短期入居生活介護(ショートステイ) ○介護予防短期入所療養介護 ○介護予防福祉用具貸与	◆地域密着型介護予防サービス ○介護予防認知症対応型通所介護 ○介護予防小規模多機能型居宅介護 ○介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム) ◆介護予防支援

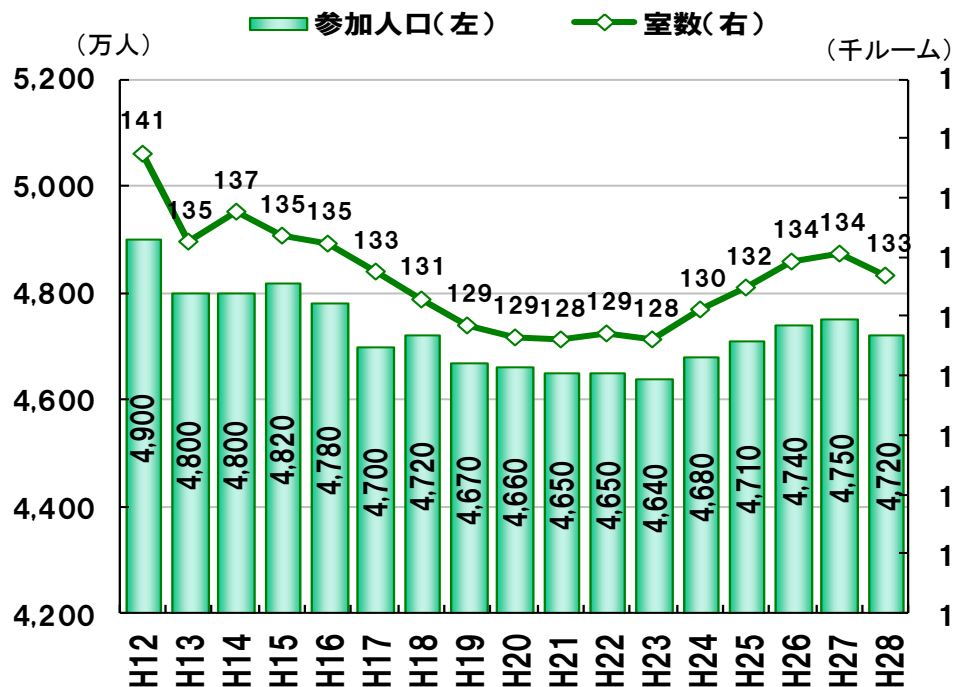
7. 業界動向 ①介護市場の動向(5)

	施設・事業所の概要	特定施設の指定の有無
		介護サービス提供主体
介護付 有料老人ホーム	介護が必要になっても、入居施設が提供する介護サービス等を利用しながら居住継続が可能。	○(特定施設)
		施設内の職員
住宅型 有料老人ホーム	生活支援等のサービスが付いた高齢者向けの居住施設。施設内に介護提供体制を整備する義務はない。	×(特定施設でない)
		外部の介護サービスを自身で選択
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	認知症など的高齢者が一般の住宅で地域社会に溶け込みながら生活することを目的とする。	
短期入所生活介護 (ショートステイ)	介護を受ける高齢者が短期間入所し、食事や入浴といった日常生活全般の介護、機能訓練などを提供。	
通所介護 (デイサービス)	在宅での介護を必要とされる高齢者を対象に入浴や体操・レクリエーションなどの各種サービスを提供し、自立を支援する。	
訪問介護 (ヘルパーサービス)	ホームヘルパーが自宅に伺って、介護を必要とされる方の日常生活の手伝いを行う。	
居宅介護支援 (ケアプラン作成)	どのような介護サービスをいつ、どのくらい利用するのが良いか、高齢者にとって最適となるケアプランを作成。	
小規模多機能型 居宅介護	「通い」を中心に、要介護者の様態や希望に応じて「訪問」や「泊まり」を柔軟に組み合わせ、介護度が中重度となっても在宅での生活が継続できるように支援していくサービス。	
訪問看護	医師の指示に基づき、看護師が家庭に訪問し、病状や療養生活を看護の専門家の目で見守り適切な判断に基づいたケアとアドバイスをを行う。	
福祉用具サービス	高齢者の身体状況や住宅環境に合わせ、自立支援をサポートするための福祉用具をレンタルおよび販売にて提供。	

7. 業界動向 ②カラオケ・飲食市場の動向

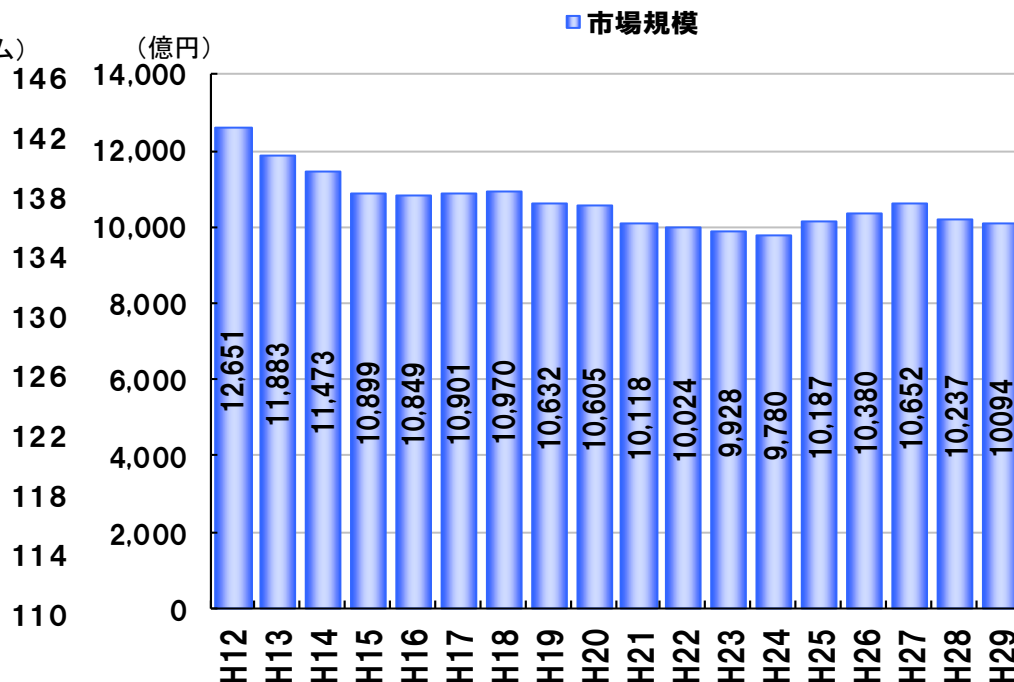
カラオケ市場・飲食市場ともに、市場規模の拡大は期待できない
⇒既存エリアでのドミナント化を推進

カラオケ市場の推移



(出所) 全国カラオケ事業者協会「カラオケ白書2018」

居酒屋・ビヤホール等市場の推移



(出所) 公益財団法人 食の安全・安心財団
「外食産業市場規模推移」